

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

平成30年度 臨時総会

開催日時：平成31年3月19日（火）午後6時30分より
開催場所：ソニックシティビル 6F 604号室

次 第

1. 会長演述 北澤 貴樹（小宮山医院）
2. 議長、副議長の選出
3. 議事
 - (1) 第1号議案 平成31年度事業計画 承認の件
 - (2) 第2号議案 平成31年度予算 承認の件
 - (3) 第3号議案 日病薬報告
第57回通常総会
第58回臨時総会
 - (4) 第4号議案 その他
4. 閉会の辞 松本 富夫（獨協医科大学埼玉医療センター）

平成31年度事業計画

【Ⅰ. 事業活動基本方針】

埼玉県民への正しいくすりの知識などの普及啓発活動および薬剤師を目指す学生への教育環境整備のための支援を行う。また薬学に係る業務・調査・研究および医薬品に係る情報提供等の実施により、会員および県内すべての薬剤師の知識と意識の向上を実現するため、研修会および講演会等を提供実施する。「チーム医療への参画と在宅医療への貢献」という観点をふまえ患者の立場に立った医療への貢献を図る。

【Ⅱ. 重点項目】

1. 埼玉県民への医療貢献
 - ①個々の県民が参加できる講演会の開催
 - ②個々の県民が相談できるシステムの実現
 - ③県民が地域で学習できるシステムの実現
2. 会員および県内すべての薬剤師、薬学生、薬事関連事業者への知識と意識の向上
 - ①医薬品の最新情報の提供
 - ②医療の質と安全の実現
 - ③チーム医療の推進
 - ④生涯教育の充実（他領域との合同研修）
 - ⑤薬学生教育の支援
 - ⑥薬事関連事業者への支援

【Ⅲ. 事業計画】

1. 埼玉県民への医療貢献
 - ①個々の県民が参加できる講演会の開催
県民のためのくすり講座、おくすり相談会の実施
 - ②個々の県民が相談できるシステムの実現
電話による薬相談、ホームページによる薬相談の実施
 - ③県民が地域で学習できるシステムの実現
各種団体、地域町内会からの依頼への出前講座

2. 会員および県内すべての薬剤師、薬学生、薬事関連事業者への知識と意識の向上

①医薬品の最新情報の提供

病院薬学研修会、ネットカンファレンス、地域ブロック研修会、スキルアップ研修会、向精神薬臨床研修会、学術大会、新任薬剤師研修会等で新しい医薬品を含めた情報提供、適正使用などの知識の普及啓発を行う。

②医療の質と安全の実現

薬剤師の専門性を踏まえ知識や実践力等の向上を目指し、臨床業務実践講座「糖尿病」、感染制御研修会、抗がん剤研修会（集中講義を含む）、輸液・抗がん剤調製実技研修会、埼玉緩和薬物療法研修会、精神科領域臨床研修会、精神科薬物療法研修会、妊婦授乳婦・小児科領域研修会、輸液・栄養管理研修会、医療の質・安全管理研修会、その他会員の要望に沿った特別な研修会などを行う。

③チーム医療の推進

近年の厚労省医政局長通知にある具体的項目を実施する手助けとなるよう各種研修会のテーマの中で服薬指導、処方支援、フィジカルアセスメント等を取り入れる。

④生涯教育の充実

薬剤師向けの研修会は生涯研修センターの担当委員会で企画・運営・評価を行い、研修単位の付与および認定薬剤師の認証を行う。

また、日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師制度に参画する。

さらに、他領域との合同研修会を開催する。

⑤薬学生教育の支援

認定実務実習指導薬剤師養成事業におけるワークショップの開催、改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した病院実務実習テキスト作成により指導薬剤師の資質向上を計る。

⑥薬事関連事業者への支援

薬事関連事業者が医療制度の変革や技術進歩を薬事研修会で学ぶことで医療関係者との問題点の共有を図ることが重要であり、より大きな患者貢献が期待される。

第2号議案 平成31年度予算

収支予算書内訳表

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

【当期予算】

勘定科目	平成31年予算案	平成30年予算案	増減	備考
経常増減の部				
(1) 経常収益				
正会員会費	7,640,000	7,560,000	80,000	4,000円×1,910名
賛助会員会費	2,280,000	2,280,000	0	30,000円×76名
特別会員会費	480,000	480,000	0	4,000円×120名
事業収益				
研修事業収入	5,000,000	4,500,000	500,000	各研修会
広告収入	250,000	500,000	△ 250,000	
受取補助金等				
日病薬返付金	2,388,000	2,364,000	24,000	1,200円×1,990名
雑収益				
受取利息	10,000	10,000	0	預金利息
雑収入	400,000	600,000	△ 200,000	
経常収益計	18,448,000	18,294,000	154,000	
前期繰越収支差額	2,500,000	2,300,000	200,000	
	20,948,000	20,594,000	354,000	
(2) 経常費用				
事業費				
給与	1,800,000	1,800,000	0	職員給与
会場使用料	1,552,000	1,552,000	0	委員会等会場設営
会費	925,000	925,000	0	
講演料	590,000	590,000	0	
通信運搬費	670,000	550,000	120,000	
印刷費	2,500,000	2,620,000	△ 120,000	会誌、名簿
消耗品費	580,000	580,000	0	
負担金	320,000	320,000	0	関東ブロック、県事団体連合会
積立金	800,000	800,000	0	関東ブロック積立金
活動費	2,625,000	2,570,000	55,000	
雑費	380,000	380,000	0	
	12,742,000	12,687,000	55,000	
管理費				
給料手当	1,800,000	1,800,000	0	職員給与
総会費	150,000	150,000	0	
理事会費	570,000	570,000	0	
役員会費	200,000	200,000	0	
旅費交通費	350,000	350,000	0	出張費、職員通勤手当
通信運搬費	300,000	300,000	0	
備品費	249,000	249,000	0	
消耗品費	860,000	860,000	0	
光熱費	299,000		299,000	
印刷費	200,000	200,000	0	
賃借料	1,700,000	1,700,000	0	事務所賃料、リース代
交際費	200,000	200,000	0	関連団体、慶弔費
支払手数料	900,000	900,000	0	税理士・司法書士顧問料
雑費	408,000	408,000	0	
租税公課	20,000	20,000	0	
	8,206,000	7,907,000	299,000	
経常費用計	20,948,000	20,594,000	354,000	

第3号議案

一般社団法人日本病院薬剤師会 第57回通常総会報告

開催日：平成30年6月16日（土）

場 所：日本薬学会長井記念館 長井記念ホール

出席者：松本富夫、岸野亨、新井成俊（代理）、曾我部直美（書記）

議事：

一、協議事項

平成29年度事業報告（案）

平成29年度決算報告（案）

平成29年度監査報告

定款細則改正案

名誉会員の委嘱

役員選任の件

二、報告事項

平成30年度病院薬剤部門の現状調査

平成30年度診療所薬剤部門の現状調査

平成30年度学術小委員会の編成

薬学実務実習への取り組み

地域医療連携実例集

第1回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum の開催について

注射用抗がん剤等の安全な複数回使用の要点

厚生労働科学研究「病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究」について

厚生労働省医政局経済課委託事業「バイオ医薬品の使用促進に関わる普及啓発等事業」について

平成30年度年日病薬表彰の選考結果

平成30年度学術奨励賞の選考結果

三、質問・要望

一般質問、要望事項

内容：

1. 協議事項

平成29年度事業計画報告

I. 各部・各委員会関連事業

- ① 地域医療連携を推進するための取り組み
- ② 外来・病棟との連携を推進するための取り組み
- ③ 医療安全への取り組み
- ④ 診療報酬改定への取り組み
- ⑤ 生涯研修への取り組み
- ⑥ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度への取り組み

- ⑦ 専門薬剤師認定制度への取り組み
- ⑧ 薬剤師養成のための薬学教育への取り組み
- ⑨ 臨床研究倫理審査への対応
- ⑩ 日病薬誌の編集・発行等の取り組み
- ⑪ 広報活動推進への取り組み
- ⑫ 調査研究事業への取り組み
- ⑬ 会員増加に向けた取り組み
- ⑭ 医薬品情報の適正化への取り組み
- ⑮ プレアボイド報告への取り組み
- ⑯ 災害医療支援への取り組み
- ⑰ 規模別・機能別薬剤師業務に関する取り組み
- ⑱ 表彰関係等

II. 教育・研修等関連事業

- ① がん薬物療法認定薬剤師研修
- ② がん専門薬剤師集中教育講座
- ③ 感染制御専門薬剤師講習会
- ④ 精神科薬物療法認定薬剤師講習会
- ⑤ 妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研修
- ⑥ 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会
- ⑦ HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修
- ⑧ 中小病院薬剤師実践セミナー
- ⑨ 療養病床委員会セミナー
- ⑩ 精神科病院委員会セミナー
- ⑪ 地域医療関連フォーラム
- ⑫ 新人研修
- ⑬ 実務研修会
- ⑭ CRC 養成研修会
- ⑮ CRC と臨床試験のあり方を考える会議
- ⑯ 薬剤師のための臨床研究セミナー
- ⑰ 治験事務局セミナー
- ⑱ 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会
- ⑲ 医療情報システム講習会

III. 国際交流関連事

- ① 国際薬剤師・薬学連合国際会議への参加
- ② 米国医療システム薬剤師会議 52 回ミッドイヤー臨床薬学会議への参加
- ③ 海外からの研修生等の受け入れ
- ④ 海外病院薬剤師との学術交流
- ⑤ がん薬物療法認定薬剤師・がん専門薬剤師海外派遣事業への取り組み

IV. 厚生労働省関連事業

- ①地域医療基盤開発推進研究事業
- ②特別研究事業
- ③重篤副作用疾患別対応マニュアル改定事業
- ④医薬品フォーミュラリーに関する特別調査

V. 関連団体等への協力

2 報告事項

I. 平成 30 年度「病院薬剤部門の現状調査」の依頼に関して

II. 病院実習について

「改定薬学教育モデルコア・カリキュラムに準拠した病院実習の評価について」の通達があった。平成 31 年度の予定は下記に示す。

I 期（薬局）2/25～5/12、II 期（病院・薬局）5/27～8/11、III 期（病院・薬局）8/26～11/10

IV 期（病院）11/25～平成 32 年 2/16

III. 学術小委員会の編成について

新規に第 2 小委員会「適正な医薬品安全管理体制の下、未承認薬・適応外薬を使用するための体制構築と薬剤師の役割について」が加わる。

IV. 地域医療連携実例集

1. 診療所の事例
2. 精神科病院の事例
3. 療養病床の事例
4. 一般病床の事例
5. 一般病床の事例

V. 第 1 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum の開催について

第 1 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum は 2018 年 10 月 27 日～28 日の日程で砂防会館で開催される。

VI. 注射用抗がん剤等の安全な複数回使用の要点が示された。

1. 注射用抗がん剤等の複数回使用の定義
2. 複数回使用する単回使用注射薬の選択
3. 安全に複数回使用するための調整環境と調整方法
4. 保管期限等
5. 施設ごとの調整手順書 等

3. ブロック代表質問事項、一般質問・要望事項

- ・ 地域の医療スタッフとチーム医療について
- ・ 一般社団法人日本病院薬剤師会の会費徴収の在り方とそれに基づく経費調査について
- ・ 介護老人保健施設における薬剤師の配置について
- ・ 次回診療報酬に向けた準備について
- ・ 薬剤師の給与改善対策について
- ・ 日病薬の研修シールについている QR コードについて

一般社団法人 日本病院薬剤師会 第58回臨時総会報告

開催日：平成31年2月23日

場 所：日本薬剤会長井記念館 長井記念ホール

出席者：松本富夫，岸野亨，町田充，新井成俊

議事：

一. 協議事項

平成31年度事業計画（案）

平成31年度予算（案）

二. 報告事項

1. 第2回病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 開催について
2. 医薬品医療機器制度部会のとりのまとめ
3. 平成32年度診療報酬改定への対応
4. 日病薬の次年度の調査（現状調査・特別調査）について
5. 厚生労働科学研究「病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性向上と薬剤師業務のあり方に関する研究」について
6. 日病薬の災害への対応
7. 日病薬 病院薬学認定薬剤制度について
8. 平成31年度学術小委員会の募集
9. 日病薬会員の研究発表における倫理的配慮について
10. 薬剤管理サマリーに関する調査について
11. タイ病院薬剤師会との連携協定
12. 「卒後研修に関する検討会」に設置

三. 質疑・要望

ブロック代表質問

内容：

1. 協議事項

平成31年度事業計画

1. 医療の質の向上への貢献
2. 医療安全対策の推進
3. 医療連携の推進
4. 病院診療所および介護保険施設などの薬剤師業務の実践
5. 日本病院薬剤師会の組織体制および運営の強化
6. 薬剤部門の現状調査の実態および婚儀の業務展開の方向性の検討
7. 災害への対応・対策
8. 後方活動の推進

9. 臨床研究の推進
10. 生涯研修制度、研修事業の実施
11. 認定薬剤師・専門薬剤師の認定事業の実施
12. 薬剤師養成のための薬学教育への協力
13. 会員への情報提供および啓発事業の充実
14. 国際交流事業の強化

2. 報告事項

I. 第2回 Future Pharmacist Forum の開催について

2019年6月15日（土）から16日（日）にベルサール東京日本橋にて開催

II. 薬機法制度改正に関するとりまとめ

III. 平成32年度診療報酬改定要望事項（案）

重点項目（6項目）

1. 地域連携の評価
2. 働き方改革に関する要望
3. 抗菌薬適正使用支援加算の施設基準の要件緩和
4. 薬剤師の外来業務に関する評価
5. 病棟薬剤業務実施加算1（療養・精神）の8週制限の緩和
6. 周術期におけるチーム医療の評価

一般要望項目（10項目）

1. バイオ後続品の使用体制に関する評価
2. がん患者指導料への回数制限の緩和
3. 精神疾患患者に対する訪問薬剤管理指導の評価
4. 糖尿病透析予防指導における薬剤師の評価
5. 無菌製剤処理料の施設基準の要件緩和
6. 放射性医薬品安全管理加算の新設
7. PET検査における薬剤師の評価
8. 認知症治療における薬剤師の評価
9. 集団薬剤管理指導料の新設
10. 麻薬、向精神薬、覚せい剤原料又は毒薬調剤加算の増点

IV. 病院薬剤部門の現状調査・診療報酬改定に向けた調査について

回答率が下降してきている。2019年からは調査項目・項目数を見直し、項目数は300から400程度まで減少させ調査スケジュールも見直しを行う。

V. 日病薬の災害への対応

岡山県病院薬剤師会 まび記念病院への派遣薬剤師活動報告。日病薬共催 PhDLS プロバイダーコース/災害登録派遣薬剤師養成研修会宮城県コース報告。広域災害救急医療情報システム（EMIS）のアカウント取得について

VI. 日病薬薬学認定薬剤師制度規定及び細則等の改正

VII. 日病薬会員の研究発表における倫理的配慮について

人を対象とする医学系研究を実施するにあたっては、原則として医療機関や大学等地域に設置された倫理審査委員会を利用していただくことが望ましい。地域での倫理審査の申請が困難な会員においては日病薬の臨床研究倫理審査委員会に申請で

きる。

3. ブロック代表質問事項

- ・ 特定入院料算定病棟における活動実態の情報収集のためのデータ提供について
- ・ 都道府県病院薬剤師会が主催・共催する病院薬学認定制度の認定領域の公表時期について
- ・ 回復期リハビリテーション病棟における診療報酬上の評価及び薬剤師定数について
- ・ 大規模災害時の状況把握等の体制について
- ・ 日病薬に置ける災害対策について
- ・ 病院薬剤師の将来ビジョンについて
- ・ 病棟薬剤業務実施館の8週間の縛りについて

第4号議案 その他